

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医務費

事業名 在宅医療提供拠点整備事業費補助金 (地域医療介護総合確保基金)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療福祉連携推進課 在宅医療福祉係 電話番号：058-272-1111(内3281)

E-mail：c11220@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 32,769 千円 (前年度予算額： 88,286 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	88,286	0	0	0	0	0	88,286	0	0
要求額	32,769	0	0	0	0	0	32,769	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

高齢化の進展を見据え、在宅医療需要が高まる中、在宅医療の推進に向け、かかりつけ医等在宅医療人材の育成や、医療・介護の枠を超えた多職種連携の促進等、在宅医療提供体制の強化を図る必要がある。

また、南海トラフ地震や頻発する豪雨災害時において、高度化する在宅医療機器の停電対策に備える体制を整えることは重要である。

(2) 事業内容

〈補助先〉 (一社) 岐阜県医師会

岐阜県医師会が現岐阜県医師会館 (昭和52年竣工) の建て替えに伴い、新たに整備する「在宅医療提供拠点」に係る建築工事費等に対する補助。同拠点において、在宅医療の多様な研修機会の提供、研修会を通じた多職種間の相互理解の促進、県民への在宅医療の普及啓発等を実施する。

また、非常用電源を整備し、災害時には電源確保が必要な在宅患者に対する医療提供が可能なスペースとしての活用も予定している。

(3) 県負担・補助率の考え方

在宅医療を担う多様な人材育成や多職種連携強化を図る。
新医師会館内で「在宅医療拠点」に位置付けられる面積を補助対象とする。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	32,769	在宅医療提供拠点に係る建築
合計	32,769	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第7期岐阜県保健医療計画
第3部第1章第11節

「在宅医療連携の必要性を学ぶ研修会を実施する等、在宅医療、訪問看護等の連携強化及び在宅医療連携を担う地域人材の育成を図ります。」

(2) 国・他県の状況

県医師会館建て替えに伴う在宅医療推進拠点の整備に要する経費補助（基金活用）
山梨県（H30）基金 160,000千円 補助率1/2
静岡県（R元）基金 110,000千円 補助率1/2

(3) 後年度の財政負担

令和5～7年度の整備事業（計画額 計100,000千円）

(4) 事業主体及びその妥当性

在宅医療の多様な研修機会の提供、研修会を通じた多職種間の相互理解の促進、県民への在宅医療の普及啓発等の取組みであり、県域を総括する岐阜県医師会に対して助成することは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県医師会館の建て替えにより、在宅医療の実施に係る拠点としての機能を持たせ、地域包括ケアシステムの深化・推進を図る。（整備期間：令和5～令和7年度）

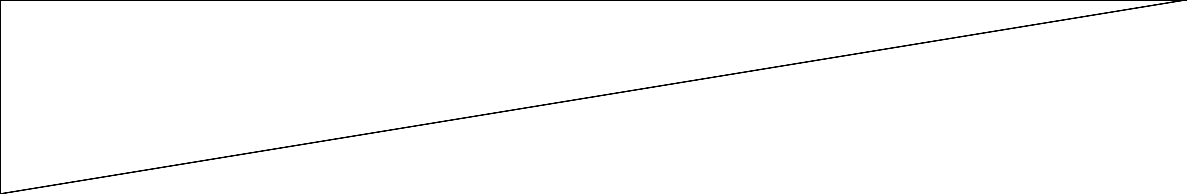
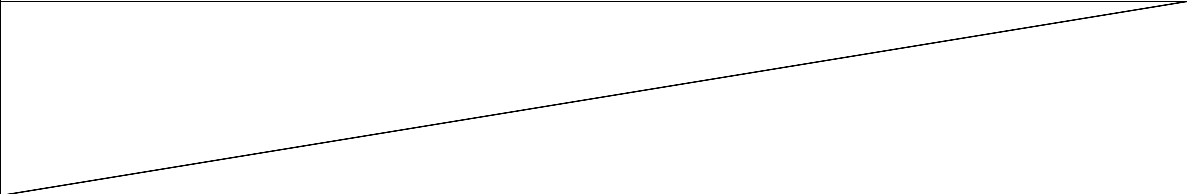
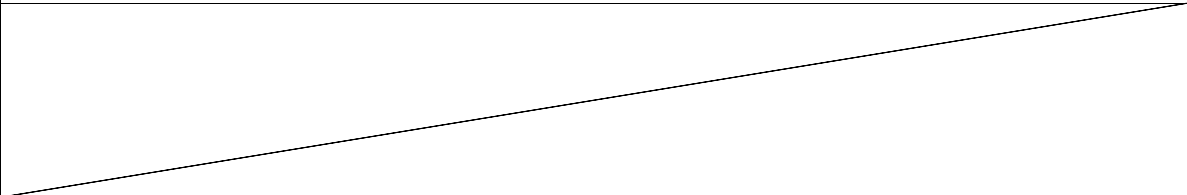
（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

本事業は、岐阜県医師会館の建て替えによる在宅医療提供拠点整備を行う事業であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 3 年度	 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	高齢化の進行による療養を必要とする者の増加に備え、在宅医療の提供体制の構築・強化が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 3	地域において適切な在宅医療・介護が受けられる環境の整備を図ることができる。災害時における在宅患者等の一時受け入れ、医療提供可能な体制を図ることができる。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 2	県医師会館の建て替えに併せて、会館内に在宅医療提供拠点としての機能を持たせることで、県医師会が行う在宅医療事業と一体的な実施が可能となる。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方角性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	